

平成25年4月2日開催の部長会議の報告をします。

## 部長会議報告書

平成25年4月2日

3階第2会議室9:15～

### 1. 市長訓示

- ・新しい副市長、2名を迎えるとともに、今回の人事異動によって、新たに3名が部長級に昇格した。それぞれ、気持ちを新たに全力で職務に取り組んでいただきたい。また、課長、係長をはじめとする部下の教育に目を向け、幹部職員としての自覚を十分にもって、部下の規範となるように努めていただきたい。
- ・平成25年度当初予算は、人件費、公債費のような義務的経費や、施設管理費といった経常的経費と既に債務負担行為を設定して進めている事業を主体とした骨格予算を編成した。特に、市役所本庁舎の耐震化事業をはじめ、市民病院等を含む地域医療の確保・充実など大きなプロジェクトが進行中であり、施策優先度による重点配分予算への変更を図る必要があり、各部局での協力を求めていくことになる。
- ・投資的経費を中心とした政策的な事業については、早急にヒアリングを実施し、事業の優先度や事業規模などを判断し、6月議会の補正予算で肉付けを行う。厳しい財政状況が続くことは確実である。しかしながら、閉塞感が漂う時代こそ、多種多様できめ細かい市民サービスが求められているところであり、現実的な市民サービスを的確に捉えながら、それぞれが創意工夫でもって取り組んで頂きたい。
- ・従来から続くものでも改めるべきは思い切って変えていくことが、今日の桑名市に期待されていることであることを自覚してもらい、従来のやり方の延長では、達成しないことを十分認識し、常に「改革」の視点を持って、積極的に提案してほしい。
- ・本市においても、社会構造の変化は確実に進行しており、地域医療、子育て支援、高齢者福祉、さらには防災・防犯体制など市民生活に密着する多くの課題に直面している。これら諸課題に対応するため、行政だけではなく、市民の皆様が持つ「まちづくり市民力」との連携こそが、これからの本市の持続的な発展を支える原動力となるものと考えている。
- ・新・桑名市7つのビジョンに掲げたように、市民の皆様に市政に関心を高めていただき、行政が市民の皆様と情報を共有し、信頼関係を築きながら全員でまちづくりを進めていく「全員参加型市政」に取り組んでいるので、幹部職員として、このことを年頭に率先して取り組んでいただきたい。
- ・各部長は、職場風土の活性化対策の先頭に立ち、風通しの良い職場環境となるよう、職場内でのコミュニケーションを大切にしてほしい。上司、部下の報告・連絡・相談はもとより、

大いに意見を交換し、お互いの意思の疎通を図られたい。

- ・職務を遂行するにあたっては、心身の健康が第一である。日頃から自身を含め部下の健康管理にも目を配り、部長としての職務をまっとうしてもらいたい。
- 公私の区別を明確にし、十分リフレッシュを図られたい。

## 2. 自己紹介（副市長・全部長）

（昇格）

- ・経済環境部長
- ・多度町総合支所長
- ・教育委員会理事

## 3. その他

### 1) 平成25年度予算の執行について

年度当初にあたり、予算執行について、連絡をする。

特に、平成26年度予算の補助金については、昨年度に引き続き見直しに係るヒアリングを財政課、政策経営課で実施するので、留意されたい。

（以上総務部）

### 2) 今後、副市長が出席をする庁外での会議等への随行及び、公用車の運転については、各担当部署でお願いをする。その際は、秘書課と調整をおこなっていただきたい。

### 3) 4月4日（木）5日（金）に新副市長へ各部局の課題等の概要説明を実施する。説明の際には、部長の出席をお願いしたい。

### 4) 時事通信のi-jumpについては、留任した部長級以上を除いて、一旦ライセンスの解除を行う。各課内室長以上の職員は、政策経営課公開キャビネットの登録作業をご覧いただき、それぞれで登録をしていただきたい。

### 5) 次回4月16日の部長会議において、本年度の部局の発表を行う。様式は、本日の部長会議終了後通知するので、11日（木）までに政策経営課に提出をお願いする。

また、部長会議の課題議案提案は、昨年同様、一会議一部の発表とするので、活発な議論のできるテーマの発表をお願いする。

（以上市長公室）